



株式会社パートナーズ IT事業部

AI-OCR「MECE with DX Suite」 ミーシー ご案内

1.はじめに

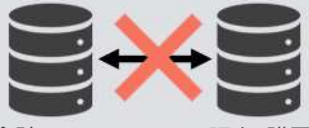
2.AI-OCR「MECE」概要

3.パートナーズご紹介


4.お問合せ先

1.はじめに

このようなお悩みを抱えていませんか？


① 
会計システム 販売・購買システム

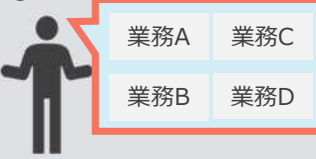
業務個別でシステムが存在するため、加工の手間、データ連動の仕組みが必要

② 
新業務との連携ができない
クラウド化したい
保守停止・サポート打切で困る

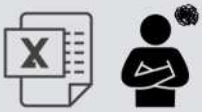
昔に開発したオーダーメイドシステムが悩みのタネ

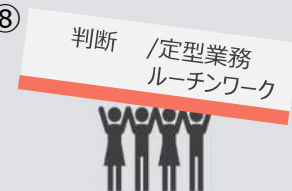
③ 
システム運用や保守費用に多額のコストが発生し、看過できなくなっている


④ 
IT導入等の推進・判断ができる人材がない（＝情報システム不在、片手間）

⑤ 
業務が属人化しており、その人しかわからない「ブラックボックス化」を招いている

⑥ 
未だに紙文化から抜け出せず、業務の分断や確認のための時間が取られる

⑦ 
エクセル等による管理が限界、VBAで効率化をしているが作成した人は退職

⑧ 
定型業務で日々忙殺され、本来時間を割きたい業務に向き合うことが難しい

⑨ 
業務で発生するデータの扱いに規定がない、特に個人情報についてはないがしろ

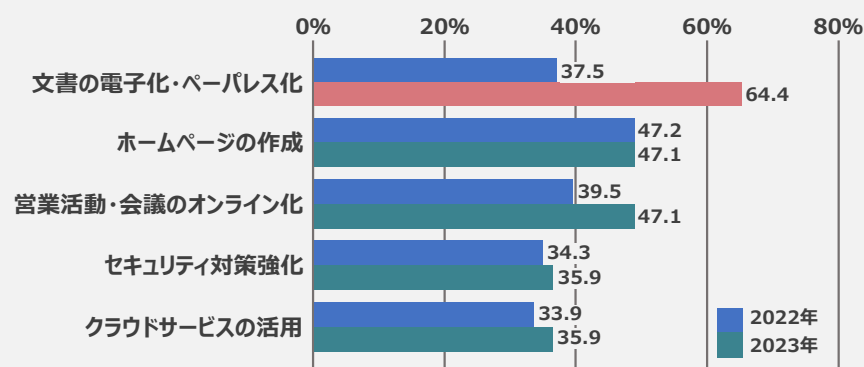
システム化（＝デジタル化）の中途半端さによる業務弊害が誘引されます。

1-2 中小企業の現状とDXに対する意識

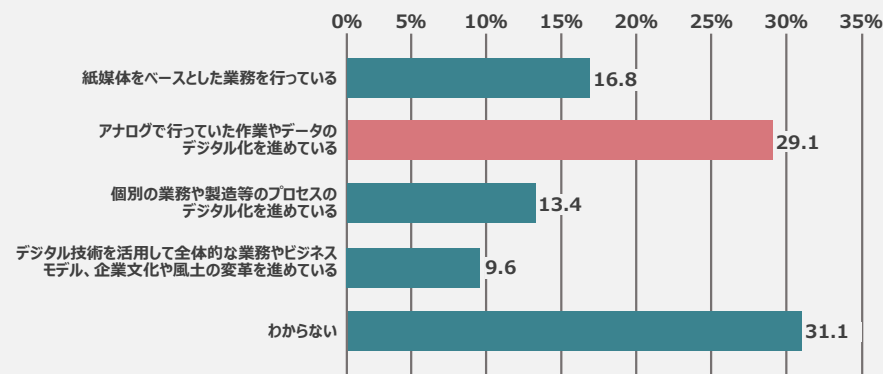
2023年は、文書の電子化・ペーパーレス化が進展

DXの取組企業、もしくは取組予定の企業のうち、具体的な取組内容としては「文書の電子化・ペーパーレス化」が64.4%で最多であり、前回調査の37.5%を26.9ポイントも上回り、文書の電子化・ペーパーレス化に対する課題感を持ち、解消のための動きが伺える。また、「デジタイゼーション（アナログで行っていた作業のデジタル化）」段階は29.1%で最多であり、DX手前としてデジタル化の必要性を感じている。

DXの「具体的な取り組み内容」(n=312 複数回答)



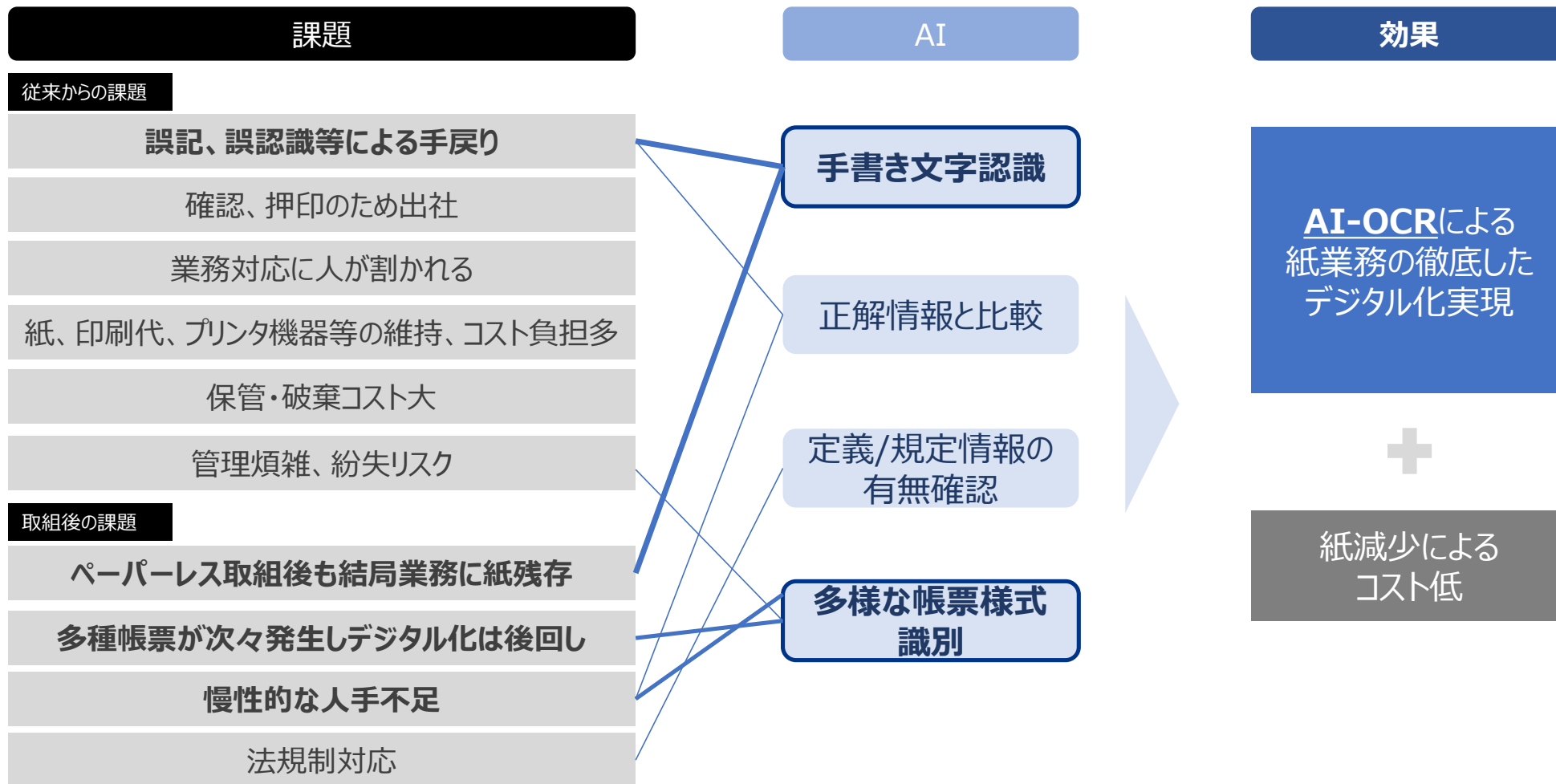
DXの「取り組みの進捗状況」(n=1000 単一回答)



Chatwork「23年11月中小企業調査」 調査：10月20～23日 中小企業の社長1055名、バックオフィス担当者1070名
中小機構「中小企業のDX推進に関する調査(2023年)」 調査：7月28～8月1日 全国の中小企業者等1000社

DXの潮流は「紙」を扱う業務に対する再見直しの強いキッカケになりましたが、あくまでデジタル化の範疇の可能性がります。

1-3 紙が業務にあることの課題とAI活用



文字認識の向上や自動分類、解釈等 AIによる付加価値を実感できます。

	従来OCR	AI-OCR
フォント	精度にムラがあり	ほぼ精度高く認識
手書き	ほぼ精度は見込めない	OCRと比較すると格段に向上
傾き 縮尺	補正はできない	自動で最適化
帳票	一般的な文章が基本 項目がある帳票は苦手	様々な帳票様式に対応
範囲	座標設定が必要で手間	設定容易 項目に合わせて自動識別

✓ 従来OCRにAI技術で付加価値

これまでのOCRでは通常のフォントであった場合でも誤認識をすることが多々見られました。AI-OCRでは、フォントだけでなく、手書き文字も高精度で認識することが実現することができます。

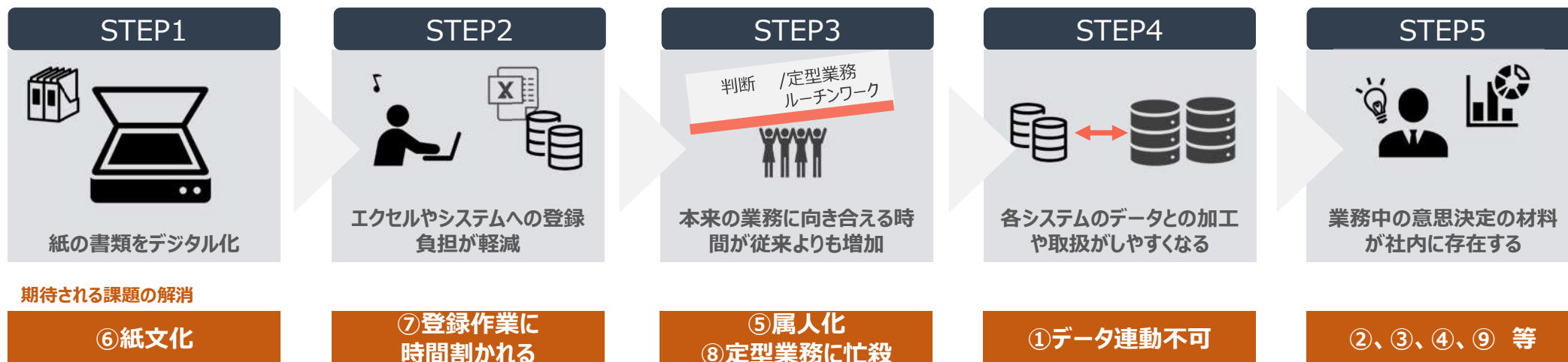
また、様々な帳票様式にも適切に取得できること可能なため、その後の加工の手間が軽減される上、必要に応じて業務システム等へ連携することも可能です。

✓ 脱紙文化の一歩として

中小企業で長年抱える課題の一つとして、紙による業務手続きは業務改善の壁となることはご存知のとおりです。ただ、単純に紙の情報をデータに変換した後にも目を向けなければ、業務への寄与具合は大きく変動します。

一歩としては必要でありながらも、二歩目に歩むための業務変革の起点として始めてみませんか。

デジタル化の第一歩として、AI-OCRは適切なアプローチです。



紙に慣れ親しんだ業務では、デジタル化の足かせになることは事実です。ここを乗り越えるかの本気度が、中期的な企業運営に影響を与えます。

1-6 電帳法改正対応

2022年1月に電子帳簿保存法が改正され、業務取引で発生した電子的なデータを保存することが求められ、検索してすぐに取り出せるよう管理する必要があります。

これは「電子取引」に分類され、以下のものが該当します。（紙の書類で受渡しが完結のものは不要）

- 1) メール添付で送受信した請求書
- 2) Webサイトでダウンロードした領収書
- 3) クレジットカードの利用明細
- 4) インターネットバンキングの振込取引情報 など

2024年1月からは企業規模問わず対応必須となりますが、保存要件として意識しなければならない点があります。

見読可能性

保管している情報を整った状態ですぐに出力できること
具体的には、国税に係る書類と同じ程度に明瞭な状態、拡大縮小で出力可能等

検索機能

「取引年月日」「取引金額」「取引先」で特定の情報を見つけられるようにすること

データの真実性を
担保する措置

保存した電子データの真実性を担保できること
タイムスタンプの利用やデータ履歴の記録、不正な行為防止のため規定を整備、運用

AI-OCRはこれらの要件を実現するためのソリューションとして最適解です。

1-7 IT補助金

AI-OCRも業務効率化としてのツールとして有効ですが、IT補助金の活用にあたっては対象となる業務プロセスを有するシステムや、対応するソフトウェアとの組み合わせが必要となります。

汎用プロセス単体では対象外

補助対象業務			補助金	
通常枠	業務プロセス	共通	補助率	補助額
		顧客、販売、決済・債権債務 供給・在庫、会計・財務・経営 総務・人事、給与 他	1/2以内	1-3プロセス 5万円-150万円未満
		特化		
		その他業務固有プロセス	1/2以内	4プロセス以上 150万円-450万円以下
		汎用プロセス		
		汎用、自動化、分析ツール	3/4以内 4/5以内	50万円超
インボイス枠	インボイス対応	会計・受発注 ・決済ソフト	2/3以内	50万円超-350万円以下
		PC・ハードウェア等 レジ・券売機等	1/2以内	10万円以下 20万円以下
	電子取引	受発注システム	2/3以内	~350万円以下

POINT 1



紙のデジタル化は必要か

そもそも紙の書類をデータにすることに意味があるのかを一度見つけ直してみてください。小さくない費用ですので、それに見合った効果が得られるかは判断基準になります。

POINT 2



運用が大変じゃないか

全社的に適用することはデジタル化を推進する上で必要ですが、一方で各部署からの問い合わせ等に追われたり、デジタル化後の仕組み作りにも目を配らなければなりません。そのような体制が整えられるかも必要となります。

POINT 3



使いこなせるか

AI-OCRの導入にいざ踏み切ったあと、自分たちで設定が必要になることがあります。その際に管理画面が親切でわかりやすく、直感的であるかも大切な視点です。

POINT 4



無駄なコストが発生しないか

AI-OCRのサービスはいくつかの料金体系に分かれます。使う機会がないときにも必要以上に費用が発生しては、投資対効果の面で見直さざるを得ません。毎月かかる費用だからこそ、単に認識精度等だけでなく、厳しい目で判断が必要です。

POINT 5

その他

必要なときに頼れるサポートがいることも大切だと思います。また、利用実績や今後のサービス機能の充実化、拡張性もAI-OCRを選定する際の要点になります。

2.AI-OCR「MECE」概観

2-1 MECE とは？

MECEは、AI-OCR単体のサービスでは手が届かない、紙をデジタル化するにあたり発生する阻害要因を補完することで構成されています。



「MECE」は、AI inside株式会社の文字認識AIエンジンを利用しております。

さらに、当社がこれまで培った中小企業における課題解消のための付加機能を自由に組み合わせることで、DXの取組を遅滞させぬよう包括的に支援し、業務環境を一新させることを目指しています。

DX Suite、Intelligent OCR、Elastic SorterはAI inside 株式会社の登録商標です。

2-2 MECEの位置づけ

企業の環境変化に 適合します

企業の取り巻く環境は常に変化しますが、MECEはそれに
応じて適合することにより、その価値が実感できると考えてお
ります。

MECEはいつでも貴社業務のデジタル伴走者です。

DX Suite、Intelligent OCR、Elastic Sorterは
AI inside 株式会社の登録商標です。



価値① 帳票増加対応

取引先の変化に伴い、扱う帳票種類が
増加します。その場合でもMECEは適
切に帳票をデジタル化します。

価値② 定期強化

MECEはAI inside 株式会社の文字認識
AIを活用しており、定期的な機能強化、拡
張により他サービスに劣後しないよう計画、
適用をします。

価値③ オーダーメイド開発

AI-OCRを一層強化させるために、貴社
業務に合わせた機能をローコードを用い
て、安価で迅速に提供が可能です。

価値④ システム変更適用

システム変更があった場合でも、MECEで
デジタル化されたデータを自動に連携する
ことができます。

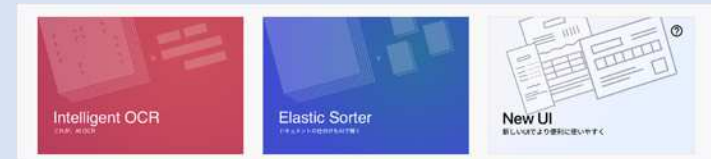
(ただし、システム仕様による)

2-3 MECEが選ばれる理由 ①直感的なUI・操作

帳票認識まで1分

ログインから対象帳票をアップロードし、帳票に存在する項目をAIが自動認識するまでわずか1分です。MECEの主機能を最短で操作することができます。

①ログイン メニュー選択



10秒

②ホーム画面 帳票アップロード



40秒

③帳票項目 自動認識



※事前に帳票様式の項目に対する設定が必要となります。

DX Suite、Intelligent OCR、Elastic Sorterは AI inside 株式会社の登録商標です。

©PARTNERS Co., Ltd. All Rights Reserved.

2-3 MECEが選ばれる理由 ②認識精度の向上

MECE meets DX Suite

従来のOCRに比較して、飛躍的な文字認識を実感いただけます。さらに、MECEのAI-OCRのエンジンはDX Suiteと同等となるため、手書き文字の認識は、多少のくせ字も正確にデジタル化されます。また、辞書機能による読取後のデータとの類似度チェックも可能です。

DX Suite、Intelligent OCR、Elastic SorterはAI inside 株式会社の登録商標です。

日本語・英語

サンプル商品

サンプル商品

SAMPLE商品

SAMPLE商品

さんぷる商品

さんぷる商品

東京都中央区サンプリング町2-2-2
サンプリングビル

東京都中央区サンプリング町2-2-2
サンプリングビル

sample商品

sample商品

数字

94,600

94600

1000 2345

10002345

2024/2/28

2024/2/28

訂正

サンプル商品セット

サンプルセット

94,600 ~~94,600~~

94600

紙のシワ



傾いた画像



©PARTNERS Co., Ltd. All Rights Reserved.

2-3 MECEが選ばれる理由 ③あらゆる帳票様式にも対応

帳票項目を一度選ぶだけ

各社独自の様式にもMECEは柔軟に対応します。様式に記載の各項目をチェックすることで、デジタル化対象を特定させるだけで事前準備は完了です。

請求書 (Invoice) form showing a table of items and their prices.

請求書

入会申込書 (Application Form) form with various fields for personal information.

入会申込書

日報 (Daily Report) form with a table for recording daily activities.

日報

お客様アンケート (Customer Survey) form with multiple choice questions.

アンケート

預金口座振替依頼書 (Direct Debit Request Form) form with a table for account details.

預金口座振替依頼書

出金伝票 (Withdrawal Slip) form with a table for transaction details.

出金伝票

作業報告書 (Work Report Form) form with a table for reporting work progress.

報告書

依頼書 (Request Form) form with a table for listing requests.

依頼書

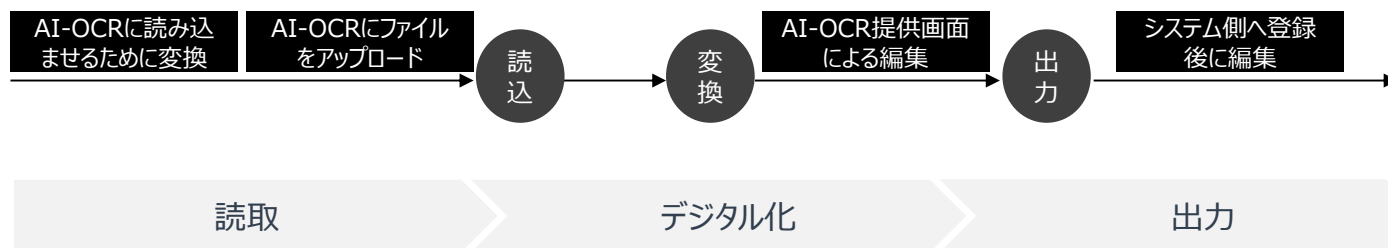
2-3 MECEが選ばれる理由 ④ローコード開発による付加価値

ペーパーレスの 取りこぼしゼロ

AI-OCR単体だけでは手が届かないヒトが介在する事前準備や対応をMECEはきちんと補完します。
利用者からの声をもとにした定期的な機能強化だけでなく、貴社だけのオーダーメイド開発も可能です。

業務のラストワンマイルの一つである紙のデジタル化を徹底的に支援します。

AI-OCR単体では、変換前後に対応が必要となります。



MECEは、AI-OCRによる効率化を最大限まで引き上げます。

現状調査

導入時に現場のシステム環境を踏まえて導入効果を引き上げます。

連携対応

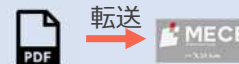
データの有効活用に向けた連携の検討、助言等を行います。

変換処理*



紙の書類に対するpdf変換を自動化します。

処理予約



MECEで変換させるタイミングを任意に指定することができます。

データ編集・補正



変換したデータを確定データにするための補助機能を提供します。

自動登録



確定したデータを業務システムへ自動入力します。

オーダーメイド

貴社業務環境に合わせて開発も可能です。

2-4 MECE の導入にあたり

POINT 1

紙のデジタル化は必要か

AI-OCRの導入効果を実感していただくことがゴールの一つでありますので、導入前においては貴社環境の診断も当社にて実施することが可能です。（無償デジタル診断）

POINT 2

運用が大変じゃないか

AI-OCR単体のサービス範囲では、処理の前後で行うことが様々あります。こうした点を解消することで運用負担の軽減、AI-OCRに関することに注力できる環境の実現が提供できます。（有償オプション）

POINT 3

使いこなせるか

AI-OCRに関しての一般的な設定に関するサポートは常時受け付けておりますので、迷ったときには気兼ねなくお電話ください。

POINT 4

無駄なコストが発生しないか

MECEは、読取り帳票に対して必要な項目のみをデジタル化する毎に課金が発生します。そのため、帳票単位でないため、ほしいデータのみを変換することで、後処理にかかる工数もグッと抑えられます。

POINT 5

その他

MECEは導入ユーザーさまからの声を踏まえて、根幹であるAI-OCRの機能向上を定期的に行うと同時に付加価値となるサービスの提供も惜しみません。

AI-OCR導入時のポイント5点に対して、MECEは向き合います。

ITソリューションのよくある事象として導入がゴールになることが往々にして見かけます。こうしたデジタル化に対する躓きを回避するために当社は時間をかけるところを見極めて、MECEがある業務フローの実現のため包括的に支援します。

2-5 MECE 料金体系

サービス組合次第

DX Suiteと同等のAI-OCRは基本月額料金3万円から始められ、業務の適合性を見極めながら小さく始めることが可能です。

DX Suite、Intelligent OCR、Elastic SorterはAI inside 株式会社の登録商標です。

サービス料金

初期費用

10万

円

MECE 基本プラン料金

S

目安：帳票枚数500枚未満

3
万円/月

M

目安：3,000枚未満

9.8
万円/月

L

それ以上

19.5
万円/月

+ 超過読取項目料金

MECE オプション料金

MECE変換

AI仕分

専用入力画面

MECE連携

料金はお問い合わせください。

紙の書類を当社にて
pdf変換代行

MECEに読込のタイミングで
帳票を自動仕分

他システムへ連携・登録する
ための専用画面作成

連携システムへ自動登録する
機能追加

無償サポート（9-21時まで 曜日問わず）

2-6 DX Suiteとは？

数々の受賞

当社が利用しているAI-OCRのエンジンはAI Insideが提供しているDX Suiteです。各社独自ユーザー評価にて上位選考しており、安心してお使いいただけます。

DX Suite、Intelligent OCR、Elastic SorterはAI inside 株式会社の登録商標です。



「BOXIL SaaS AWARD（ボクシル サース アワード）」

SaaS比較サイト「BOXIL SaaS（ボクシル サース）」を運営するスマートキャンプが、優れたSaaSを審査、選考、表彰するイベントです。



アイティクラウド株式会社が運営するIT製品レビュープラットフォーム「ITreview（アイティレビュー）」にて、ITreviewで投稿されたレビューをもとに四半期に一度ユーザーに支持された製品を表彰する場です。



「Alsmiley AI PRODUCTS AWARD 2024・冬」

国内最級のAIポータルメディア「Alsmiley」（アイスマイリー）に掲載されているAIサービスの中から、独自のデータに基づき2023年9月から11月に活躍したAIサービスを選定・表彰する賞です。

2-7 MECEサンプル帳票受付

一目瞭然

まずはお手元の帳票をお試ください。
デジタル化の一步をぜひ当社と踏み出しましょう。

以下のURLにアクセスし、フォームより帳票ファイルをアップロードしてお送りください。

www.ai-ocr.cloud

AI-OCR「MECE」
文字認識精度トライアル 申請フォーム

Eメール*

会社名お名前

帳票アップロード*

ファイルを選択 | 選択されていません

送信

いただいた帳票の変換データを一切修正せずにcsv形式でメールアドレスへご返信します。

[注意事項]

- ①帳票は1ファイルのみとなります。(5MB以内)
- ②個人情報が含まれる帳票はお控えください。
- ③帳票で変換させたい項目を指定ください。ない場合は全文変換となります。
- ④送付ファイル形式はpdfにてお願いいたします。

2-8 AI研修+MECE

自己負担なしの導入

AI研修と合わせて導入することでMECEの年間サービス料金を最大75%まで軽減が可能です。
研修申込から補助金申請、MECE導入までを一気通貫で当社にておまかせください。

当社は補助金申請支援のリーディングカンパニーであるライトアップ社と提携し、AI研修とMECE導入をセットでご提供予定です。

2024年夏頃 正式リリース予定

3.株式会社パートナーズ ご紹介

主事業

IT事業部は、お客さまへの直接的な貢献に拘り、2つの事業でご支援しております。



ERPコンサルティング/導入

企業運営に欠かせない基幹業務システムを統合したERPパッケージの導入、定着化までを一気通貫として担います。

SAP Business One
Microsoft Dynamics365
ZAC



受託/サービス開発

ノーコード/ローコード、およびオフショアによるスクラッチ開発により、従来のシステム開発にありがちな業務不適合や必要以上のコストを軽減します。

Bubble
Zapier/Make/Microsoft Power Platform
オフショア開発 (VN/PH)

3-2 IT事業部 実績紹介

2024年4月時点



道路事業会社

舗装補修工事の発注業務 業務標準化、
およびチェックシステム企画、要件定義支援

大手精密機器メーカー

国内外の情報共有環境企画
環境提供、ルール整備/定着化支援

中小企業メーカー（2社）

紙面の書類（注文書等）のデジタル化（AI-OCR）
会計システムへの自動登録、修正UIをワンソリューション提供

（東海地方）地場電気工事会社

EV充電サービス構想、アーキテクチャ企画
システム開発、運用管理

3-2 IT事業部 実績紹介

公共工事発注業務の標準化、チェックシステム開発：道路事業会社 様

背景・概要

道路事業者における公共工事発注時の訂正公告抑止対策を講じるにあたり、当社IT事業部にお声かけいただく。本取組と合わせて業務標準化の策定も行うことも提案する。
訂正公告の内訳として一番ボリュームが大きい数量明細表関連の軽減を目的に事業所担当者からのヒアリングとシステム寄与観点の調査より着手開始する。

課題

- ① 事業所/担当者毎で業務の進め方に乖離がある恐れ
- ② 教育や育成に際し、上記に起因する阻害要素が存在
- ③ 目視確認、Wチェック等の人による確認の限界



支援内容

- ・事業所(3ヶ所) ヒアリング/3ヶ月 計6回
- ・業務標準化フロー策定の材料整理 (共通/相違)
- ・システム寄与観点の洗い出し
- ・上記整理、ドキュメント作成等

効果・成果物

- ・標準業務フローの土台作成
- ・100%の精度に近いチェックシステム実現要素の整理

【納品済】

- ・中間報告結果レポート
- ・チェックシステム要件定義書
- ・業務標準フロー

3-2 IT事業部 実績紹介

EV充電サービス : (東海地方) 地場電気工事会社 様

背景・概要

東海地方のLED設置工事を主体とされている電気工事会社にて、今後普及見込みのEVに対して、充電サービスの提供を2021年頃より模索していたところ、検討先の1社としてお声がけいただく。EV充電に関する技術、知見、および資本を持たざるものが取り組める前提をもとに、サービスのモデル策定、アーキテクチャ構想といった超上流から主体として関与する。

課題

- ① EV充電に関する知見等が一切ない
- ② 資本を持つ競合他社といかに区別、優位性が持てるか
- ③ パイを広げる必要がある一方で出口戦略も明確にする



支援内容

- ・ビジネスモデル策定
- ・アーキテクチャ構想、技術検証
- ・開発、運用、アプリ公開等
- ・導入、検証
- ・代理店施策、損保提携、投資検討

効果・成果物

- ・3ヶ月での短期アジャイル開発、提供
- ・静岡県3エリアへ提供済
- ・全国（北海道、関西、九州）への展開機会



ERPコンサルティング/導入

企業運営に欠かせない基幹業務システムを統合したERPパッケージの導入、定着化までを一気通貫として担います。

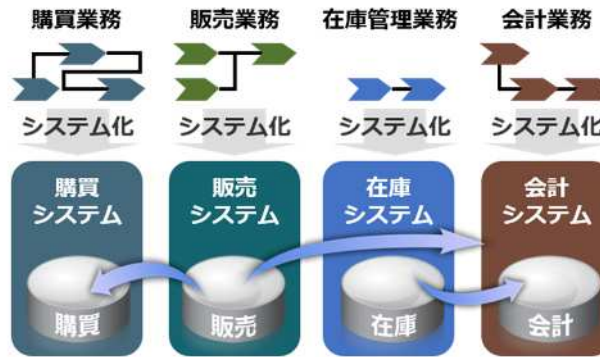
SAP Business One
Microsoft Dynamics365
ZAC

ERPの導入効果、期待

ERPの代名詞であるSAP社提供の中小企業向け Business Oneでは、業務がリアルタイムに連携・統合されます。業務の整合性を保証するだけでなく、業務で使うマスタ共有、コード統一などの標準化も促進、統一した基準で作成されたデータの見える化が可能になります。

他社業務システム

各業務を繋げるという思想で作られている
(疎結合)

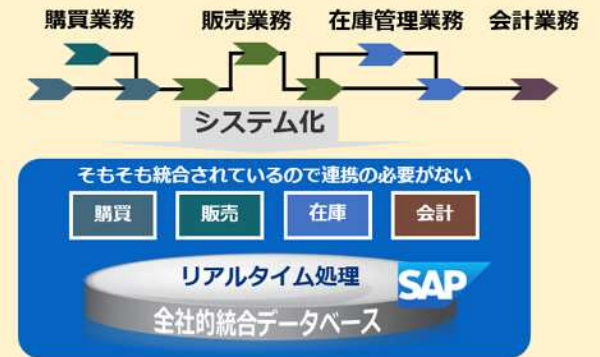


連携しないといけないので・・・

- タイムラグやデータ粒度の不一致が発生する
- マスタデータの不整合
- 全体最適ではなく個別最適の仕組み（統一性がない）
- データのトレーサビリティの低さ、耐監査性の低さ
- 拡張性の低さ、陳腐化の早さ

SAP Business One

業務は繋がっているという思想で作られている
(密結合)



そもそも統合されているので連携の必要がない

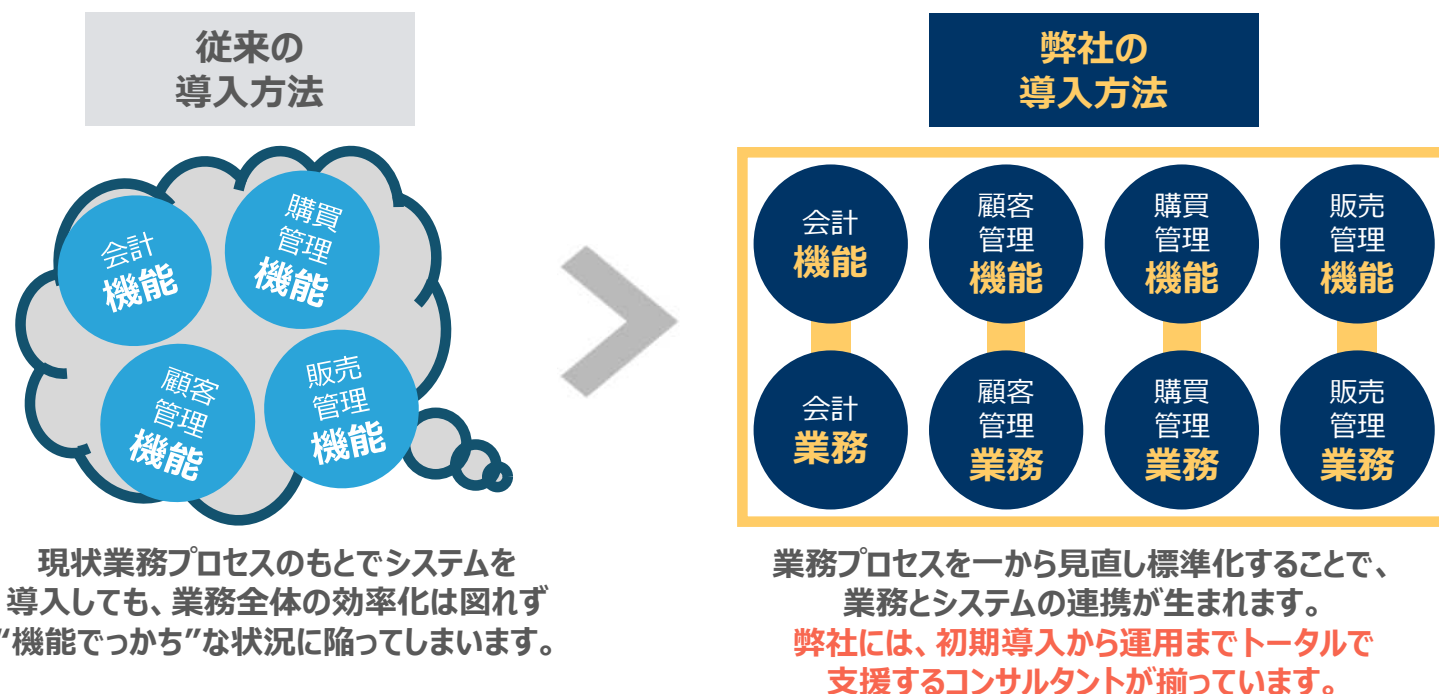
連携する必要がないので・・・

- リアルタイムにデータが更新される
- タイムラグや二重入力が不要なため業務効率上がる
- 業務間のデータの整合性が保たれている
→データの確認作業や突合作業は不要
- 制度変更、ビジネス環境変化への対応力、拡張性が高い

導入方法論の確立

複数の成功実績を収めてきた導入方法論で、一貫したサービスを提供いたします。

当社のシステム導入の考え方は、初期導入段階から運用までのイメージを描写して、一貫したサービスを提供することにあります。また、効果的かつ効率的なシステム導入作業を遂行するための“導入スタイル”として、これまで複数の成功実績を収めてきた“導入方法論”を確立しております。



プロジェクトを成功させるための支援策

Fit to Standardの考えのもと、確実にプロジェクトを成功へ導くための導入支援プログラムを実施しております。

プロジェクトの成功可否は **超上流工程 及び 上流工程 が重要** と考えます。その中でもプロジェクトマネジメントが最重要という考えのもと、システム導入及びプロジェクト推進してまいります。



重要ポイント①

PLAN

・PMP
(PJ Management Planning)



重要ポイント②

- ・導入パッケージ製品の理解の徹底
- ・標準に合わせることを徹底意識
- ・各担当者が主体的にプロジェクト参画

3-3 ERPコンサルティング/導入

当社の所属メンバーのプロジェクト事例をご紹介します。

業種	規模 (ライセンス数)	対象モジュール	メンバー	期間	SAP Business ONE 導入区分
医療機器メーカー	10名	販売、購買、会計、生産管理	PM : 1名 SE : 1名 開発 : 1名	12ヶ月	新規導入
厨房機器メーカー	20名	販売、購買、会計、サービス	PM : 1名 SE : 1名 開発 : 3名	12ヶ月	海外パッケージからの乗り換え
アパレルメーカー	5名	販売、購買、会計、生産管理	PM : 1名 SE : 1名 開発 : 1名	12ヶ月	新規導入
翻訳会社	30名	販売、購買、会計、生産管理	PM : 1名 SE : 1名 開発 : 1名	14ヶ月	レガシーシステムからの乗り換え
小売店	20名	販売、購買、会計、アドオン開発、 ECサイト・POSとのインターフェース	PM : 2名 SE : 2名 開発 : 6名	16ヶ月	スクラッチシステム (VB開発) からの 乗り換え
化粧板事業	10名	販売、購買、会計、生産管理、 MRP	PM : 1名 SE : 2名 開発 : 3名	10ヶ月	AS/400からの乗り換え



受託/サービス開発

ノーコード/ローコード、およびオフショアによるスクラッチ開発により、従来のシステム開発にありがちな業務不適合や必要以上のコストを軽減します。

Bubble
Zapier/Make/Microsoft Power Platform
オフショア開発 (VN/PH)

3-4 受託/サービス開発

従前の受託開発から 脱却

クラウド化、SaaSの台頭によりこれまでの受託開発に対する考え方は方針転換を余儀なくされています。当社では**真に顧客への価値提供の最大化**を図れるよう、コスト面だけではない寄与ができるよう努めることを前提としています。お客さまと当社だけでなく、その先の顧客、社会に向けた三方良しを実現に向けてこれまでのノウハウを出し惜しみすることなく、提供していきます。

	パッケージ導入	ノーコード開発	ローコード開発	スクラッチ開発
開発経験	必要なし	ほぼ必要なし	やや必要なし	必要
開発期間	なし	ほぼ必要なし	やや必要なし	中-長
柔軟性/拡張性	低-中	やや低	やや高	高
開発費用	原則なし	やや安	中-やや高	中-高

ノーコード/ローコード開発	
内容	スクラッチ開発（開発費高騰、ベンダーロック等）とパッケージ/SaaS（カスタマイズの制限等）の負の面を吸収するための選択肢として、当社はノーコード/ローコード開発に注力しています。 利用するツールに依存はしますが、オーダーメイドに近いシステムを低コストで実現が可能となります。
実績	局所的な業務システム（自動化含） 1ヶ月 AI-OCRと基幹システム連携システム 2.5ヶ月

オフショア開発（スクラッチ開発）	
内容	当社提携のオフショア開発会社（ベトナム）にて、日本では高価になりがちなオーダーメイドシステムを提供します。 当然ながら、当社が窓口としてシステム提供までを責任持ち導入し、一般的な保守、および適宜改修までを国内開発会社と同等品質をお約束します。
実績	EV充電サービス（アプリ、管理システム） 3ヶ月 公共工事チェックシステム 2.5ヶ月

4.株式会社パートナーズ お問い合わせ先

4.株式会社パートナーズ会社概要 お問い合わせ先



会社名	株式会社パートナーズ
設立	2012年11月
本社	〒440-0837 愛知県豊橋市三ノ輪町字本興寺41番地の1 CREST.1 第1丸中ビル4F
IT事業部	東京支社：〒100-6615 東京都千代田区丸の内1丁目9番2号 Grantウキョウ サウスタワー 15F TEL. 03-6281-8840 FAX. 03-6281-8841 担当：山木 拓治（ヤマキ タクジ）
役員	代表取締役社長 鹿間 靖博 取締役副社長 鹿間 鮎子 専務取締役 山本 順昭 取締役技術顧問 渡邊 浩 取締役技術部長 坂本 浩伸 取締役部長 土屋 享大 執行役員 参与 荒木 利朗
会社URL	https://partners-tokai.com/
事業内容	土木設計業務・建築設計業務・測量業務 IT事業 旅客事業

 **PARTNERS IT SOLUTION**

<https://www.it-solutions-partners-tokai.com/>